

#38 KeePer CERUMO GR Supra

波乱万丈の第4戦、接近戦を争うも6位フィニッシュ。



公式予選では4番手を獲得し、決勝日を迎えた。ウォームアップは曇り空のもとドライコンディションで迎えたが、スターティンググリッドについた後、上空には通り雨が降りはじめた。スタート直前には雨は止み日射しも出はじめるなど、チームは直前までタイヤ選択に頭を悩まされることになったが、スタート時にスリックタイヤを選択。小林利徳選手に序盤の戦いを委ねた。レースはセーフティカースタートとなったが、この間にライン上はあっという間に乾いていった。セーフティカーは5周目に退去。小林選手は冷静にリスタートを決め4番手でGRコーナーに入っていく。しかしその後方では、#64「Modulo HRC

PRELUDE-GT」と#23「MOTUL Niterra Z」、#12「TRS IMPUL with SDG Z」がストレートで交錯。#64が宙を舞う激しいクラッシュが発生し、レースは赤旗中断となった。2回目のセーフティカー先導で再開された。10周目にリスタートを迎えると、小林選手は4番手をキープしながら3番手を行く#17「Astemo HRC PRELUDE-GT」とのギャップを縮めていった。21周目、#17とのバトルに持ち込むと、3番手に浮上したが、その後方からは決勝ペースに優る#37「Deloitte TOM'S GR Supra」が接近し、これに先行を許してしまい、ふたたび4番手と

なり、ピットイン。残りのスティントを大湯都史樹選手に託した。ただ、このピットインで小林選手はわずかに停止位置をオーバーランしてしまい、この影響でわずかにタイムロスを感じ、ややポジションを下げ、5番手となった。

大湯選手はレース後半、4番手を走っていた#17とのギャップを少しずつ縮めていく。47周目、#36「au TOM'S GR Supra」がテールにつき、粘る大湯選手がハードブレーキングを強いられるシーンも。地力のペースが異なっており、大湯選手は#36の先行を許してしまうことに。

その後、大湯選手は#14「ENEOS X PRIME GR Supra」、#39「DENSO KOBELCO SARD GR Supra」の2台を従えつつ、#17を追うレースを展開していったものの、最後は0.816秒届かず。6位でフィニッシュすることになった。



#61 SUBARU BRZ R&D SPORT

レース終盤のタイヤバーストで28位フィニッシュ。



決勝は12番手からのスタートとなった。ウォームアップ走行が終わり、グリッドに並んだときに突如雨が降り、悩んだ末、ウェットタイヤを選択。途中事故による赤旗中断を経てリスタートとなったが、瞬く間に乾き、ドライタイヤへ交換が必要となった。リスタートが切られる前にピットオープンとなったことで、ドライタイヤに交換。そのため最後尾からの追い上げとなった。最初のスティントは井口卓人選手が担当し、最後尾から追い上げ、25周目には21位に。タイヤのグリップが落ち始め、山内英輝選手と交代。16位まで順位を上げるもそこからペースが上がらない。残り7周あたりになるとタイヤの異常を感じた直後、左フロントタイヤがバーストしてしまい、ピットインし再びタイヤ交換することで28位にまで後退。そのままレースを終えた。

SUPER GT 2026スケジュール

Rd.	日程	開催サーキット
第5戦	8/22(土)・23(日)	鈴鹿サーキット(三重県)
第6戦	9/19(土)・20(日)	スポーツランドSUGO(宮城県)
第7戦	10/17(土)・18(日)	オートボリス(大分県)
第8戦	11/7(土)・8(日)	モビリティリゾートもてぎ(栃木県)

KYOJO

第2戦/7/18(土)・19(日) 富士スピードウェイ

スタンディングスタートでの発進、スリップストリームを利用したオーバーテイク、複数台が並ぶ接近戦に!

予選ではトップ5が0.129秒以内、スプリントレースでは上位5台が2.821秒以内に入る接戦となった。スプリントレースの結果、1位は後続の追撃を受けながらもトップを守り切った三浦愛選手、2位には斎藤愛未選手、3位は佐藤こころ選手、4位には翁長実希選手、#3 KeePer KONDO RACINGの松井沙麗選手は9位となった。

次の日のファイナルはスタンディングスタートでレースが開始。シグナルが消え

ると、上位勢は大きな混乱なく1コーナーへ進入。三浦選手が序盤にトップへ立ち、斎藤選手、佐藤選手らがその背後につけ



る。後方でも、翁長実希選手、下野璃央選手、ジョアンヌ・チコンテ選手らによる接近争い。1コーナーでブレーキング勝負を仕掛け、三浦選手をかわしてトップへ浮上。ところが11周目、1コーナー付近で複数台が関係するアクシデントが発生。下野選手とジョアンヌ選手が接触、セーフティカーが導入され、再スタートが行われないまま、15周目のチェッカーフラッグを迎えた。優勝は斎藤選手。KYOJO CUP のファイナル初優勝。2位には翁長選手が0.800秒差で



入り、3位には佐藤選手が続いた。松井選手は9位でフィニッシュとなった。

【今後のスケジュール】

第3戦:9月5日(土)・6日(日)

第4戦:10月10日(土)・11日(日)

第5戦:10月31日(土)・11月1日(日)

※会場はすべて富士スピードウェイです

Evolution!! キーパーと進化する注目の企業インタビュー



付帯率40%強! 眼鏡用コーティング「グラッシーズKeePer」販売絶好調!

眼鏡市場 つくば研究学園店(株式会社メガネトップ)

2026年4月1日より、全国1,000店を超える店舗展開をしている「眼鏡市場」にて、メガネ専用キーパーコーティング「Glasses KeePer(グラッシーズキーパー)」が発売開始されました。販売開始直後は、手探り感もあり自信を持ってお客様にご案内できていなかったですが、施工後のお客様に反響も良く、今では販売する眼鏡の40%強の付帯率にまでなりました。



自身で体感してから
店舗スタッフの意識が大きく変わった。

初めはPOPなどで商品の特徴などは理解していましたが、イマイチ自信がありませんでした。しかしKeePer技研が実施した研修会参加以降、スタッフの意識が大きく変わりました。

職業柄、店舗スタッフは全員が眼鏡をかけているのですが、その眼鏡に「グラッシーズキーパー」を自分たちで施工をしたんです。そうしたら、見た目もキレイになって、圧倒的にお手入れが楽になったのです。

眼鏡は体の一部なので、基本的には毎日クリーナーを使ったメンテナンスが必要なのですが、「グラッシーズキーパー」を施工すると、水洗いして眼鏡拭きでふくだけ簡単にキ

レイになることを店舗スタッフ全員が体感しました。そこから販売数量が一気に拡大していきまして。

お客様へのご案内は体感したことをそのまま伝える。

キーパーの高い認知度は大きな武器となっています。「お客様に車のコーティングのキーパーをご存じですよね。そのキーパーが眼鏡用のコーティングとして作ったんです」とお伝えするとすぐ認識していただけます。

お客様には、「とにかくお手入れが楽になります」と自分で体感したことを自信を持ってお伝えする。とにかくそこが一番大切です。

会社全体でKeePer
施工が盛り上がっています。

「グラッシーズキーパー」は、デイリーで店舗実績や個人実績を共有しているので、全社全体で盛り上がってきています。

つくば学園店のように成功店が出てきたので、これから全店でさらに付帯率を上げていきます。

